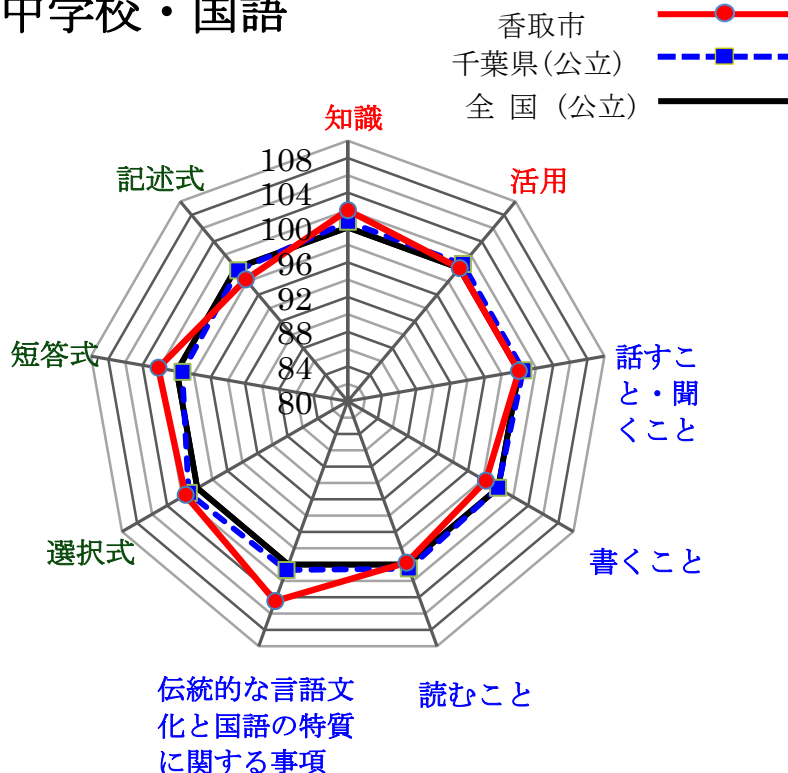


中学校の傾向と課題

中学校・国語



「知識」は昨年に続き全国平均を上回り、「活用」は全国平均と同程度でした。

領域別では、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の領域が継続して上回っています。

問題形式別では記述式が昨年と同様に全国平均を下回り、継続した課題となっています。

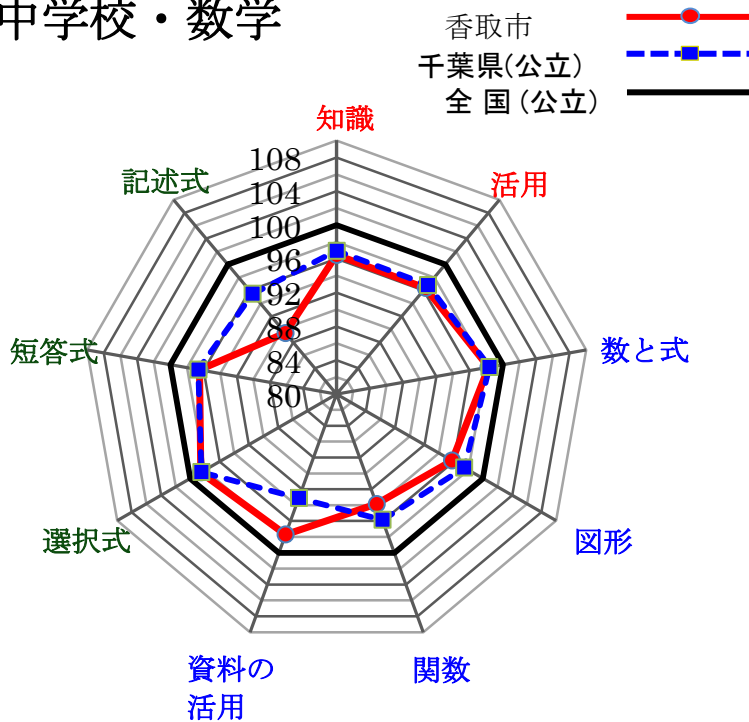
課題が見られた主な問題

- 国語A 8 二 資料集の巻末にある奥付を参照し、資料集を活用するときの留意点について最も適切に説明した文章を選ぶ。 香取市 58.6% (全国-3.8)
- 国語B 3 二 【物語の一部】に書かれている事柄について、【図鑑の説明】から分かることとして最も適切なものを選ぶ。 香取市 61.2% (全国-3.5)
- ◆国語B 3 三 本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く。
無回答率 [香取市 23.1%]

力を入れたい学習

- レポートなどを書く学習活動において、目次に着目して、自分の求めている情報を得ることができるか見当を付けたり、奥付に着目して、どの時期のデータが載っているか確認した上で、取り上げようとする情報が目的に合っているか確かめたりする。
- 現代の社会生活とは異なる事柄や風習、道具などが描かれている文学的な文章を読む際には、必要に応じて社会科などの学習と関連させて資料集を読んだり、図書館から当時の様子分かる資料を集めて参考にしたりする。
- 文学的な文章を読む際に、必要に応じて百科事典や図鑑などの資料を参考にし、そこから具体的にイメージした場面の様子などについて意見を交流する。その際、想像を広げたり理解を深めたりするために、根拠を明確にして説明し合うようにする。

中学校・数学



「知識」「活用」ともに、昨年度に続き全国平均を下回る結果となりました。

領域別では、資料の活用が昨年より改善が図られたものの、全領域で全国平均を下回っています。

問題形式別では記述式が昨年と同様に全国平均を下回り、継続した課題となっています。

課題が見られた主な問題

- 数学A 1 (1) $\frac{2}{5} \times 0.6$ を計算する 香取市 56.5% (全国-10.4)
- 数学A 2 (1) ある数を3でわると、商が a で余りが2になるとき、ある数を a を用いた式で表す。香取市 24.3% (全国-7.9)
- 数学A 5 (4) 円柱の体積を基に、底面が合同で高さが等しい三角錐の体積を求める。香取市 43.3% (全国-6.6)
- 数学A 7 (2) ひし形の対角線が垂直に交わることを記号で表す。香取市 65.0% (全国-9.7)
- 数学A 9 (2) 比例の式について x の増加に伴う y の増加量を求める。香取市 29.1% (全国-10.3)
- 数学A 1 2 (1) 資料を整理した表から最頻値を読み取る。香取市 36.3% (全国-9.2)
- 数学B 2 (2) 関数関係を表した記述を選び、その理由を説明する。香取市 15.6% (全国-5.0)
- 数学B 3 (3) A車とB車について、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する。香取市 25.7% (全国-4.6)

力を入れたい学習

- ある数を具体的な数に置き換えたり、言葉の式や図で関係を表す。
- 底面が合同で高さが等しい円柱と円錐の模型を用い、実験を行う等の活動を取り入れる。
- 平面図形の辺や角などの間の関係を記号で表したり、記号で表された関係を読み取ったりして、正しく説明する活動を取り入れる。
- 比例の表やグラフと関連付けて、増加量を視覚的に捉えて理解できるようにする。
- 資料の代表値として何がふさわしいかを考察する活動を取り入れる。
- 前提条件が不足した問題を提示して、付加する条件について考察する場面を設定する。
- 問題解決の方法に焦点を当て、何を(表・式・グラフなど)どのように用いればよいかを明らかにして、お互いの説明を比較検討する活動を取り入れる。